

みんなや食堂

地域「交流」や「支援」の拠点として
“みんな”が集える場所を目指して

金子小児科・かねこキッズルーム・かねこキッズクラブ

金子淳子



自己紹介



金子小児科 院長
山口県小児科医会 副会長
山口大学医学部 臨床講師 金子淳子

山口県の「小児科医による1か月健診」の普及啓発に関わるかたわら、病児保育施設「かねこキッズルーム」を開設(2000年)

ビルの一室で子育て支援スペース「かねこキッズクラブ」を運営(2014年)

2005年より毎年開催している「かねこキッズまつり」は1,500名もの親子連れでにぎわう



みんなや食堂

since July 2017

場 所 西法寺会館(山口県宇部市島2丁目4-1)

開催日 隔週水曜日 17～19時



1回平均利用者数 265人(2018年1月～)

延べ利用者数 10,635人(2019年3月6日現在)

みんなや食堂の概要



主催：小児科医、産科医、僧侶、経営者などの任意団体

養護教諭、放課後児童支援員、保育士、看護師
調理師、栄養士などの専門職に加え、地域住民
檀家、学生など多くのボランティアスタッフによって
運営（一部有償ボランティア）

スティグマ（恥辱）を生まない支援

子ども・大人・シルバー世代
誰でも参加可能（貧困対策というイメージの払しょく）

参加費は大人も子どもも無料（募金箱を設置）

みんなや食堂のミッション



すべての子どもを大切にする
子育て家庭を支える

多世代交流の場
子どもと大人の居場所



食の支援

文化や経験・体験の提供

ハイリスク事例への
アプローチとサポート

野菜たっぷりメニュー 季節の食材・行事や設え

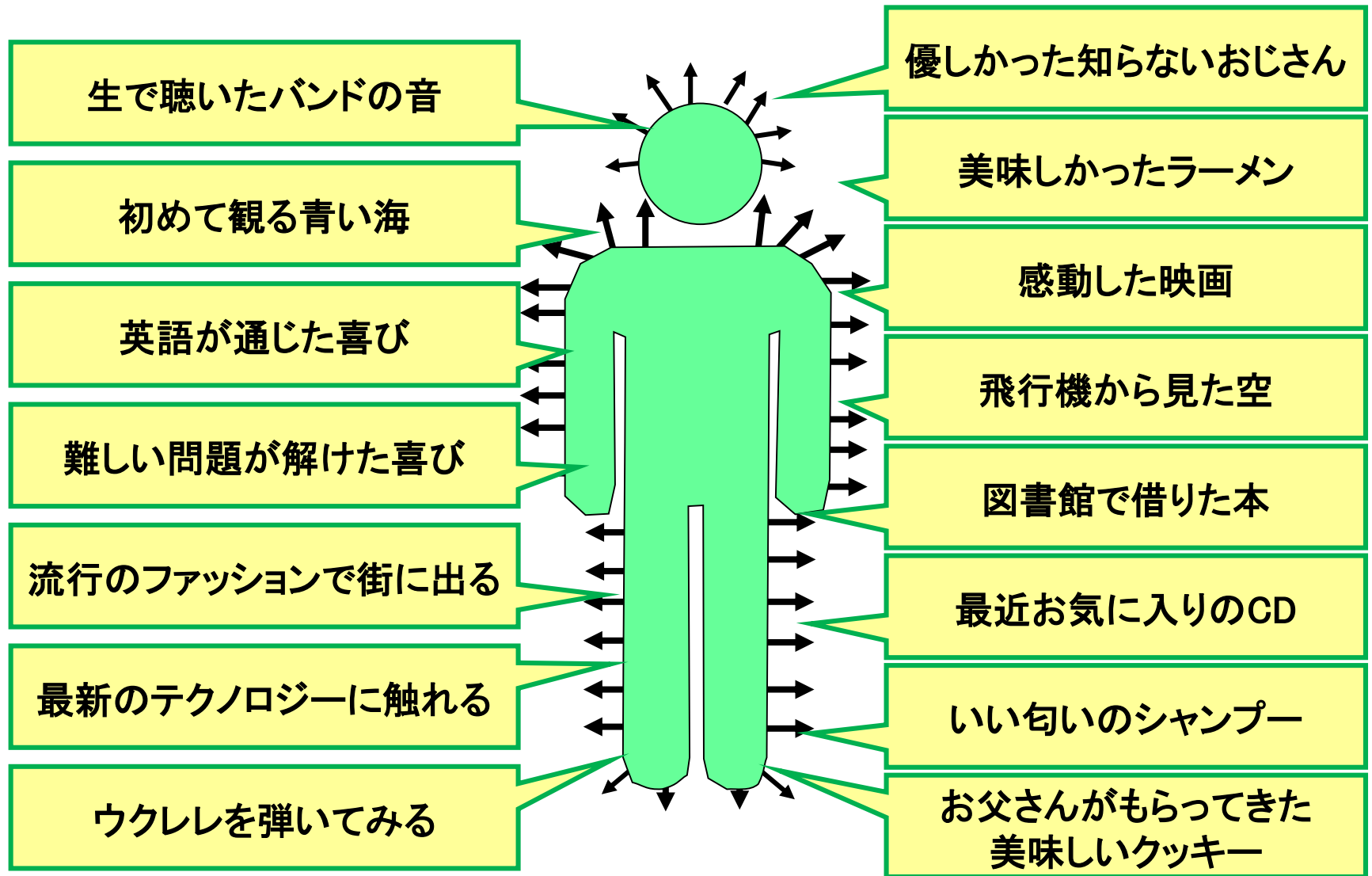


多くの企業・個人から食材を提供していただいています



文化・経験・体験
さまざまな大人との交流

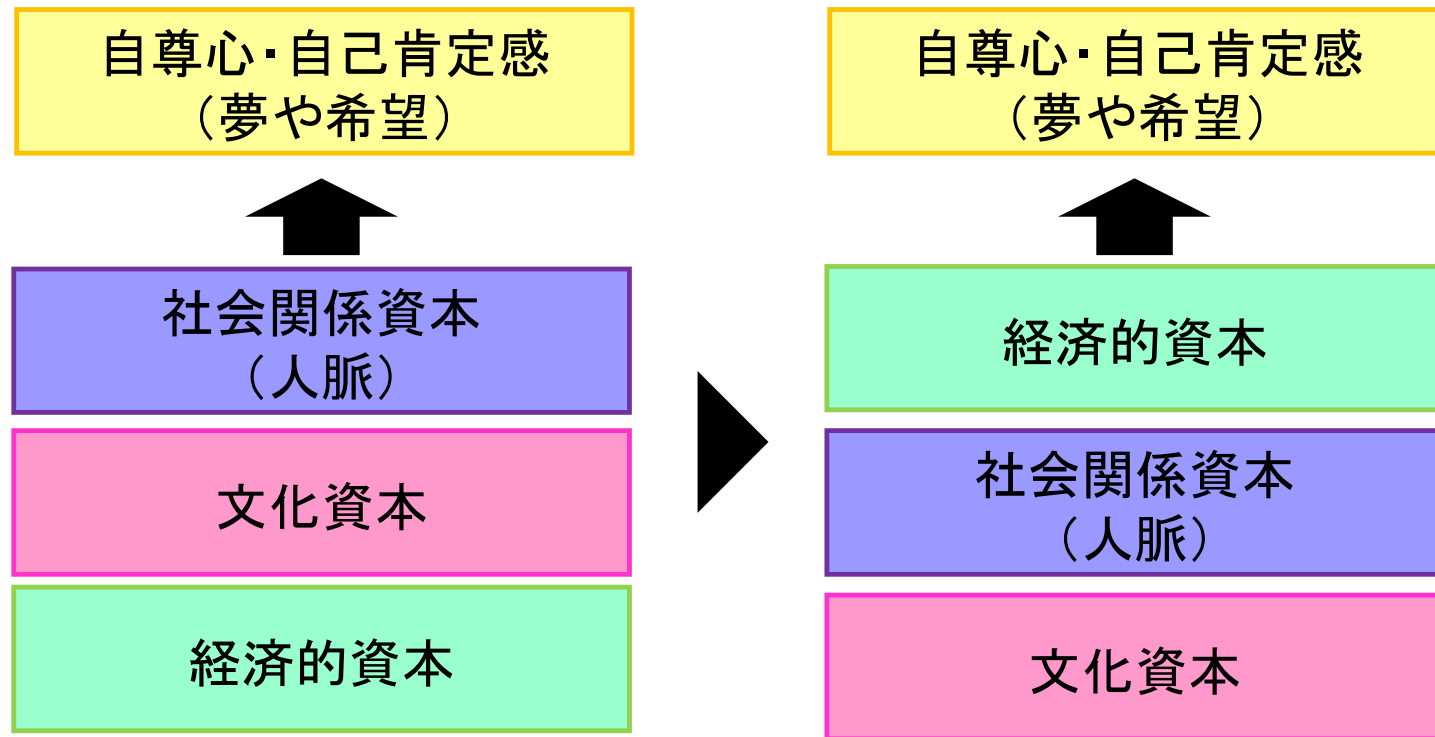
文化資本は目に見えないフックとなり 社会資本に引っかかる



NPO法人パノラマ代表理事 石井正宏さん(一部改変)

積み上げのベースを文化資本で再構築する

ブルデューは、人間の持つ資本を、**文化資本**、**経済資本**、**社会関係資本**の3つに分類した。彼は社会的地位の再生産の議論において、これらの資本を多く持つ人ほど、進学や就職において有利であり高い社会的地位につくことができるとした。



オルデンバーグの3rdプレイスモデル



米国の社会学者レイ・オルデンバーグは
自宅(ファーストプレイス)や
職場・学校(セカンドプレイス)ではない
地域コミュニティ(サードプレイス)を
都市生活者に出会いや良好な人間関係を提供し
豊かな生活を送るために重要な場であるとした



食堂を「つなぐ・つながる」場にする

課題

困窮家庭に
必要なサービスを
届ける



**アウトリーチ事業
「宅食・宅配プロジェクト」**
食事、食糧、衣類などを
自宅に届ける

支援物資の
ロス低減



**子ども食堂同士の
ネットワーク**
(食品の融通、人の交流)

支援に
携わりたい人材を
活かす



**学習支援
トワイライトステイ
など新たな支援の場**



学校での**朝食提供**



行政・地域との密な連携
(ワンストップ窓口が欲しい)

すべての子ども達のウェルビーイングのために

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



8 働きがいも経済成長も



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



16 平和と公正をすべての人に

